

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター和楽荘外6施設
(2)施設概要	施設の設置目的 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。 ①和楽荘 所在地 さいたま市緑区三室2458 開設年月 昭和45年12月 構 造 鉄筋コンクリート造 一部2階建 主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 軽食コーナー、集会室(読書コーナー含)、娯楽室 大広間、浴室、和室、水屋、茶室 ②寿楽荘 所在地 さいたま市桜区下大久保727-1 開設年月 昭和54年9月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 健康相談室、会議室、集会室、大広間 リフレッシュコーナー、浴室、談話室、茶室(図書室) 囲碁将棋コーナー ③あずま荘 所在地 さいたま市大宮区東町2-105 開設年月 昭和58年4月 構 造 鉄骨造 2階建 主な施設 健康相談室、会議室、浴室、娯楽室、集会室 ④しもか荘 所在地 さいたま市北区日進町1-800-105 開設年月 平成5年7月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 和室、健康相談室、リラックスルーム、談話コーナー 大広間、浴室、茶室 ⑤いこい荘 所在地 さいたま市中央区下落合5-11-12 開設年月 昭和47年11月 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建 主な施設 健康相談室、機能回復訓練室、談話コーナー 浴室、大広間、洋室、和室、広間 ⑥馬宮荘 所在地 さいたま市西区西遊馬533-1 開設年月 平成14年5月 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建 (馬宮コミュニティセンター)の一部 主な施設 相談室、リフレッシュコーナー、ホール、教養娯楽室、大広間 浴室 ⑦槻寿苑 所在地 さいたま市岩槻区大字笹久保1393番地 開設年月 昭和53年5月 構 造 鉄筋コンクリート造平屋建 一部鉄骨造 主な施設 浴室、大広間、囲碁将棋コーナー、健康麻雀コーナー、マッサージ室、和室、教養娯楽室 健康相談室、グラウンドゴルフ場、屋外健康器具
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和7年4月1日～令和12年3月31日 ②指定管理料 令和7年度 325,947千円

(5)施設の管理運営の内容

①運営業務の状況(利用状況含む)

◇利用状況

・利用者数201,305人(前年度175,816人)

◇業務実施状況

・介護予防と健康づくりの促進

さいたま市の地域包括ケアシステムの一端を担うために、高齢者の介護予防、認知症予防について様々な事業を展開した。また、平均寿命や健康寿命を延伸するための無理なく楽しく続けられる内容として、既存の事業の中で手を使った脳トレ体操などを実施した。

・生きがいづくりの支援

利用者一人ひとりの多様な生き方、能力、価値観を尊重し、主体的に活動へ取り組めるように支援した。また、各種活動を通じての仲間づくりを支援し、地域の高齢者が孤独を感じないような居場所づくりに努めた。

・支え合う活力あるまちづくりの推進

地域包括支援センターや地区社会福祉協議会、自治会組織をはじめ、消防署や消費生活センター等との連携を通じ、高齢者が住み慣れた地域で、健康で自立した生活を安心して送ることができるように取り組んだ。また、実習生の受け入れや未来くるワークへの協力、児童センターとの交流事業を通じ、相互理解と高齢者への敬愛の気持ちを育む環境を整えた。

②維持管理業務の状況

・日常的・定期的に安全管理点検を実施し、破損等の予防、早期発見に努めた。

・「年間維持管理計画表」を作成し、年間で予定した点検及び修繕項目の実施状況を記録する等、継続的な維持管理に努めた。

・さいたま市の維持改修計画を踏まえ「施設・設備修繕計画」を作成し、施設・設備の適正な維持管理に努めた。

③その他の業務

・長期計画に基づき単年の重点取組項目を設定した。また、重点取組項目を職員間で共有し、一丸となって目標の達成に向けて業務を遂行した。

(6)収支状況

収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
老人福祉事業収入	325千円	-	人件費	191,791千円	-
指定管理料	325,947千円	-	事務費	9,259千円	-
その他	2,014千円	-	施設管理費	108,144千円	-
人件費積立資産取崩収入	32,500千円	-	事業費	11,687千円	-
修繕費積立資産取崩収入	22,951千円	-	繰入金支出	59,173千円	-
		-	その他	2,262千円	-
【自主事業】					
収入	0千円	-	支出	0千円	-

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応

法人全体としては、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等によりご利用者からのご意見・ご要望を受け付ける機会を設けた。

施設としては、利用者懇談会を実施し、ご提案内容や利用者アンケートの内容についての回答を行った。各行事終了後はアンケートを行い、ご意見・ご要望については、次年度の各行事の検討に生かした。

利用者アンケートでは、概ね適切なサービス提供にお褒めのお言葉をいただいたが、一部ご利用者の施設使用のマナーなどにご不満の声があったため、館内放送や掲示などで注意喚起を行った。

(8)その他

①安心安全のための体制づくり

消費生活講座を実施し、安心・安全に生活するための知識の普及・啓発活動や利用者の安全を守るため、行政機関が実施する交通安全アドバイス制度や徘徊見守りSOSネットワークへ協力をした。また、事故防止の意識を高めるため交通安全教室を実施した。

②地域懇談会の開催

地域懇談会を開催し、情報交換や情報提供を通じて、直接施設に届きにくい利用者ニーズを把握し、サービス向上に努めた。また、施設案内や情報提供を行うとともに、地域情報収集を進め、連携を強化した。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
フレイル予防・介護予防の促進	・転倒予防教室、介護予防教室、いきいき百歳体操、すこやか運動教室や運動支援員による体操教室、健康講話「フレイル予防のための栄養講座」、ドレミの会や認知症予防のため、eスポーツを実施した。
健康づくりの促進	・健康相談、健康講座、健康体操、いきいき体操、やさしい筋トレ体操や運動支援員によるふれあい運動教室を実施した。 ・健康器具を設置し、健康づくりの促進に努めた。 ・軽スポーツ(卓球、輪投げ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、バンパー、バグジー、ラダーゲッター、ダーツ等)の支援を行った。
教養の向上、趣味活動の支援	・文化教室、太極拳教室、折り紙教室、手づくり講座、ぬり絵タイム、映画会、ぬり絵作品展覧会、頭の体操クイズ(施設内をめぐって答えを探す)を実施した。 ・生活講座及び防犯講座を実施した。 ・スマートフォン教室、スマートフォン相談会を実施した。
世代間交流の推進	・地域の学校、放課後児童クラブ、児童センターと共に世代間交流としてeスポーツ等を実施した。また、中学生職場体験「未来のワーク」、大学等の看護実習、学生ボランティアの受入れにより、世代間交流を促進した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

①市民の平等利用、サービスの向上、利用促進については、「みなさまの声」の投書箱を常設し、利用者からの意見を広く徴取するとともに、いただいた意見を運営に反映した。また、ホームページや施設たよりに加えてX(旧Twitter)で情報を発信することで、ご利用者へ多様な情報発信を図るとともに今まで老人福祉センターに来館されたことのない方にもご利用いただけるように努めた。(利用者数前年度比約119%)
②経費の節減については、一体的な運営の利点を生かし、業務仕様の統一や入札、契約手続きの一元化によりコスト削減に努めた。また、段階的なDX化を図りペーパーレスに取り組んだ。
③適正な管理運営の確保については、法人として会計監査人による外部監査や法人事務局による内部監査を実施し、経営や財務の公正性、健全性、透明性、適法性を保つことに努めた。
④職員の育成については、法人全体の研修や外部機関での研修受講に加えて、老人福祉センターに特化したレベルアップ研修を複数回開催し、利用者満足度の向上、安心・安全な施設運営に努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

①「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・地域懇談会開催や投書箱の設置により利用者の意見を運営に反映しサービスの向上を図っている点、積極的な広報により利用者増加に繋がっている点を評価した。

②「経費の削減」に対する評価

・一体的な運営の利点を活かした業務効率化によりコスト削減に努めている点、DX化に取り組んで紙使用量を削減している点を評価した。

③「適正な管理運営の確保」に対する評価

・内部・外部監査の実施により経営の健全性を保持している点、複数回研修を実施して職員の育成を行い、老人福祉センターの運営レベル底上げに取り組んでいる点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めてください。